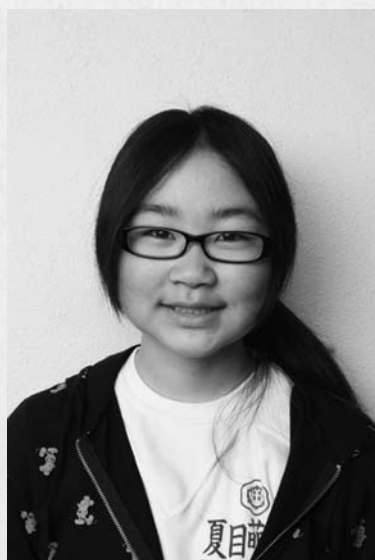


School

学び舎の窓から

輝け！元気っ子



御前崎小学校6年
なつめもえか
夏目萌絵香さん

あいさつは魔法の言葉

「おはようございます」それは魔法の言葉。「おはよう」だけではなく、「ありがとう」、「ごめんなさい」もあいさつです。魔法の言葉です。

朝、「おはよう」とあいさつをした日と、しなかった日とでは1日のスタートが全然ちがいます。

あいさつは、心のキャッチボール。あいさつとは、人と人の心が通い合うための最も身近なものであり、最も大切なことだと思います。あい

さつをすることで、心を開くことができます。そして、そこから友達というものができると私は思います。

今年私は6年生として、下級生と関わるが多くなっています。その中で、人と人の関わりで最も大切なあいさつの、心のキャッチボールを交わしていきながら、積極的に下級生と関わっていきたいと思います。

魔法の言葉をかけ合っていきたいと思います。

学校へようこそ

こどものつぶやきから

朝、門の前で「アッ」という声にどうしたのかなと振り向くと、寄せ植えの鉢にかけよってくる男の子の姿。その指先に茎だけになったチューリップがありました。たった一言の「アッ」ですが、その一言にいろんな思いが込められています。

「昨日は赤い花がいっぱいだったのに、今日はない」「なんでだろう」「お花はどこへ行っちゃったんだろう」「おかしいなあ」こんな思いの一言だったのではないのでしょうか。

そんな思いに応え、お母さんが「ほんとだー。お花ないねー」と声をかけていました。

出勤前の忙しい時間ですが、お母さんの優しい口調と、立ち止まって子どもの思いをしっかり受け止めていることをうれしく感じました。

大人から見れば何でもないことでも、子どもにとっては大きな発見だったりします。そんな一言を聞き逃さずに私たちも心のアンテナを高く持っていなければと思って保育しています。



▶市立佐倉保育園
児童数 80人
園長 服部好子

